

えんがわ通信



第20号 2013年8月
発行＊一般社団法人パーソナルサポートセンター
住所／仙台市青葉区二日町6-6 シャンボール青葉2階
電話／022-399-9662 FAX／022-224-1621
MAIL／contact@personal-support.org
WEB／http://www.personal-support.org/

Interview

支援の輪が広がり 拡充していけるよう お手伝いしたい。

NPO法人
ふうどばんく東北AGAIN
事務局長
高橋 陽佑 さん



「ふうどばんくはどんな活動をしているのでしょうか。品質上は問題ないのに、期限間近・印字ミスなどの理由で、販売できなくなつた食品を企業などから寄付してもらい、必要としている福祉団体などに無償で提

宮城県内を中心にフードバンク事業を行うNPO法人「ふうどばんく東北AGAIN」(太白区)は、PSCと連携するなどして、食料支援や就労訓練に取り組んでいます。事務局長の高橋さんに活動について、話を聞きました。

◇ 聞き手はPSC就労支援部 芳賀隆太郎

仙台では、福祉活動や困窮者支援をしている団体が話し合いを行うなどして、2009年に活動がスタートしました。

当初は、近隣の福祉施設に食料を届けるなどの小さな規模の活動を続けていました。

2年後に、東日本大震災が発生し、全国のフードバンクから支援を受けながら、複数の支援団体と、物資の

提供や炊き出しなどを行いました。

震災から2年半が経ちましたが活動やニーズに変化がありますか。

各支援団体や施設を通して、食の供給・生活支援を続けていきたいと思っています。昨年からは、PSCなどの相談窓口で「食品のパッケージ」を置かせてもらい、困

震災直後のような緊急支援はなくなりましたが、設立当初からのコンセプトである「地域で生活に困っている方々への食を通じた生活支援をする」ことに変化はありません。

「就労訓練の様子はいかがですか。」
「(実習生には)食品の詰合せや入庫・出庫管理などの体を使う作業と、端末を使った在庫管理などの作業をお願いしました。実習では、自信ややる気を見極めながら、少し難しい作業やグループ作業に挑戦してもらいました。最初は不安でしたが、回を重ねるごとに、自ら作業

を改善して効率アップしたり、成果を積み重ねる大事さを理解したりしています。明らかに顔つきが変わったんです。キラキラして、こちらにも元気をもらっています。」「気合を入れて向き合ってください。」と励まされました。今後の成長が楽しみです。

「今後の目標や課題は。」
「食の支援を通し、さまざまな団体とつながりながらネットワークを構築していきます。支援の輪が広がり、拡充していけるよう、お手伝いできればと思っています。」

「とっておきの一枚」でスマイル! フォトグラファーが撮影会

「えんがわ」スナップ

つながり



「被災後の仲間と撮影 うれしい」

① 被災後の仲間と記念撮影する参加者
② カメラを手に撮影した写真を見せるやまよしさん(左)
③ 「いい笑顔ですね!ステキ」などと声をかけながら、撮影に挑むやまよしさん



思い出
笑顔
元気



「やまよしさん」笑顔や頑張っている姿
元気づけられた



④ 撮影した写真を見て笑顔を見せる参加者
⑤ 本格的な機材を前に「えんがわ」の窓辺で撮影にのぞむ参加者(右)



被災者らを対象に、働くためのプログラムを提供する就労準備支援センター「わあくしよっぷ」(青葉区二日町)の就活講座が好評だ。7月中はプレ期間を含めて計3回、講座を開催。ハローワークの利用方法や、企業などの採用担当者の目止まりやすい履歴書の書き方などについて、PSCのスタッフが分かりやすく説明をした。

利用者は「就職活動の進め方を振り返ることができた」などと好評で、講座では自己分析や模擬面接なども行う。講座を受けるためには、事前に就労支援相談センター「わあくしよっぷ」で相談することが必要。連絡先は022(395)6323まで。

就活講座が好評 「わあくしよっぷ」

被災者らを対象に、働くためのプログラムを提供する就労準備支援センター「わあくしよっぷ」(青葉区二日町)の就活講座が好評だ。7月中はプレ期間を含めて計3回、講座を開催。ハローワークの利用方法や、企業などの採用担当者の目止まりやすい履歴書の書き方などについて、PSCのスタッフが分かりやすく説明をした。



えんがわの輪

佐藤 勇さん(71)
太白区八木山南二丁目
「学生と交流楽しい」
仮設住宅に入居して、まっ先にしたのは家庭菜園でした。小さいスペースですが、大きいトマトやカボチャが収穫できるようにになりました。手料理やトマトジュースにして、近所の人に振る舞っています。

農業体験記

天の恩恵か、農場の作物は順調に育ち、ナスやトマトなどが収穫の最盛期を迎えています。森永乳業から先日、ドイツ製の放射線測定器をいただき、畑の放射線測定ができるようになりました。子どもやお年寄りにも安心して食べてもらえるよう、栽培を続けていきたいと思っています。



TOPICS(9月)

就労支援相談センター「わっくわあく」

職業体験実習 参加者募集 随時受付中

働きたい被災求職者らを対象に、現場の感覚を身につけてもらうため、職業体験実習の参加者を募集しています。実習先は、食品加工や販売、事務系などさまざまです。自分に合った仕事を探したり、今後、就職活動をしやすくなるためのステップアップにつながります。実習生には、日数や時間に依り、最大で10万円の奨励金が支払われます。

※ご希望に沿えない場合もありますので、予めご了承ください。

※職業体験実習は、事前に就労支援相談センター「わっくわあく」に登録・相談が必要です。

ハローワーク出張相談 事前予約制

ハローワーク仙台の「就職支援ナビゲーター」が、被災者の就職に関するさまざまな相談に応じます。専門の担当者に相談できる良い機会です。悩みがある方は、この機会にぜひ足を運んでください。

- 日時：9月6日(金)・20日(金) 13:30~16:00
- 場所：就労支援相談センター「わっくわあく」

◎お申込み・お問い合わせ

TEL: 022-395-6323 [PSC就労相談課]

仙台友の会 料理教室 事前申込制：締切9/6

「仙台友の会」が、栄養改善を目的に料理教室を開きます。安くて栄養バランスのとれた料理で、お食事や会話を楽しみながら、食生活の改善について考えてみませんか？

- 日時：9月11日(水) 10:00~13:00
- 場所：仙台友の家(仙台市太白区鹿野3-23-33)
- 定員：20人(当日は15分前にララガーデン長町前集合)
- 持ち物：エプロン、参加費200円(実費)

◎お申込み・お問い合わせ

TEL: 022-308-5009 [担当：藤田]

仙台市産業振興事業団

就職やキャリアに関する個別相談 受付中

プロのカウンセラーによる就職や進路・キャリアに関する個別相談です。(就職のあっせんではありません)

- 日時：9月27日(金) 13:00~20:00(一人50分)
- 場所：AER6階 情報・産業プラザ
- 対象：①学生・求職中の方(年齢不問)
②在職者(30代まで) [定員：20人]
- 申込締切：9月20日(金) 必着

◎申込方法：郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・学生/求職中/在職中のいずれかを記入し、郵便・FAX・Eメールでお申込みください。締切後に応募者全員に決定通知書をお送りします。

◎お申込み・お問い合わせ：仙台市産業振興事業団
〒980-6107 仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階
TEL: 022-724-1212, FAX: 022-715-8205
Eメール: koyoushien@siip.city.sendai.jp

のびすく仙台

幼稚園ガイダンス 受付中

先輩ママのお話や幼稚園の先生のお話等、幼稚園を決める前に聞いてみませんか？

- 日時：9月12日(木) 10:00~11:30
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター 6F
- 対象：来春幼稚園入園を考えている方
- 定員：25人(子どもと一緒に可)

グループ相談「ママのからだのケア」9/8~申込開始

子育てで疲れているママのからだのケアについてお話しをしていただきます。

- 日時：9月19日(木) 10:00~11:30
- 講師：藤田 愛さん(山形大学医学部看護学科准教授)
- 場所：のびすく仙台こどもひろば
- 定員：15人(子どもと一緒に可)

◎お申込み・お問い合わせ：のびすく仙台

TEL: 022-726-6181, FAX: 022-214-5071

被災地に暮らす30~40代女子のための

語り合いの場「こころと〜く」受付中：締切9/3

ヨガでからだをほぐしたあとは、おいしいお菓子とお茶を片手にのんびりおしゃべりしましょう。

- 日時：9月8日(日) 10:00~12:00
- 場所：エル・ソーラ仙台(アエル28階)
- 対象：被災地に暮らす30~40代の女性
- 定員：15人(子どもと一緒に参加できません)
- 参加費：500円

◎お申込み・お問い合わせ：おとな女子3040PROJECT
メール: oj3040project@excite.co.jp

えんがわ通信 求人情報

就労支援相談センター「わっくわあく」(PSC就労支援部)と提携する特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」が、求人情報をお届けします。
※特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」無料職業紹介事業(許可番号04-ム-300010)

●契約
営業・企画 (ノルマ無し) 若林区荒町

着物展示会等の訪問案内業務
給 与/時給1,000~1,200円
+通勤手当(上限有)
+実績により販促手当
勤務時間/10:00~17:00または
10:00~19:00の間の5時間
程度、時間外月平均5時間
休憩時間60分
休日・休暇/週休2日制
(土・日両方またはどちらか
と祝日勤務可能な方)
加入保険/雇用・労災
免許・資格/普通自動車免許

株式会社 奥江呉服店

●パート
清掃 青葉区錦ヶ丘

ヒルサイドショップ及びアウトレットのフロア清掃、ガラス清掃、トイレ清掃等の仕事(女子トイレ清掃有)
給 与/時給750円
+通勤手当(上限有)
勤務時間/8:00~12:00、13:00~17:00
時間外月平均10時間
休憩時間なし
休日・休暇/シフト制(週1~2日休み)
加入保険/労災
免許・資格/不問

トウホクメンテナンス株式会社

●契約
フロント業務 宮城野区榴岡

宿泊等予約受付(深夜業務有)
給 与/150,000円+通勤手当(上限有)
勤務時間/変形(1ヶ月単位)
(1)8:00~17:00
(2)9:00~18:00
(3)10:00~19:00
(4)ナイト業務17:00~翌
11:00(2時間程度仮眠有)
時間外あり、休憩時間60分
休日・休暇/週休2日(シフト制)
加入保険/雇用・労災・健康・厚生
免許・資格/高卒以上
PC操作(ワード・エクセル)
経験あれば尚可

日本私立学校振興・共済事業団 仙台ガーデンパレス

●パート
調理補助 宮城野区南目館
陸上自衛隊仙台駐屯地内

給食業務
給 与/時間給700~850円
勤務時間/変形(1ヶ月単位)
(1)5:00~9:30
(2)9:00~13:30
(3)15:00~19:00
※(1)~(3)のシフト制
時間外なし、休憩時間なし
休日・休暇/週休2日(シフト制)
加入保険/雇用・労災
免許・資格/不問

キョウワプロテック株式会社 仙台事業所

●パート
訪問介護員 訪問エリア:仙台全域
(作並・新川・秋保を除く)、
多賀城市、塩釜市、利府町

在宅においての訪問介護(身体介護、生活介護)
給 与/時給1,100~1,550円
+通勤手当(上限なし)
+その他手当
勤務時間/6:00~22:00の間の3時間以上、
時間外なし、休憩時間なし
休日・休暇/週休2日以上
加入保険/労災(就労時間により加入保険
が変わります)
免許・資格/ヘルパー2級以上介護福祉
士のいずれか、普通自動車免許
(自動車持込み出来る方)

有限会社あべりあ(ヘルパーステーション)

●パート
軽作業 若林区五橋

マンション内のゴミ回収作業
給 与/時給700~800円
+通勤手当(上限有)
勤務時間/9:00~15:00
時間外なし
休憩時間30分
休日・休暇/週休2日(シフト制)
加入保険/雇用・労災
免許・資格/不問

キョウワプロテック株式会社 仙台事業所

※求人募集が終了している場合がございますので、あらかじめご了承ください。

求人に関する問い合わせ ▶ ワンファミリー仙台 求人担当 022-395-6364

就職についてのご相談 ▶ 就労支援相談センター「わっくわあく」022-395-6323

生活困窮世帯の中学生の学習支援

アスイク・みやぎ生協・PSC

NPO法人「アスイク」(宮城野区)と「みやぎ生協」(泉区)、PSC(青葉区)の3団体は7月上旬から、生活困窮世帯の中学生を対象とした、無料の学習サポート事業を展開している。

仙台市の委託事業で、3団体でつくる「せんだい学びとくらしの安心サポート共同体」が運営している。生活保護受給世帯と児童扶養手当全額受給世帯の中学生を対象に、インターネット教材を使った学習支援などを実施するほか、保護者の就労支援や生活再建もサポートする。

教室は、太白区長町一丁目のマンション、同区内のみやぎ生協店舗の集会所、福祉施設の計3カ所に設置。8月中旬、同区富沢と八木山にある生協集会所にも教室を開く予定。



教室は週2、3回、平日の放課後に行われ、1カ所につき15~30人を受け入れる。参加者全員が1台ずつパソコンを使い、自分のレベルに合ったインターネット教材で学習するほか、対面による学習サポートも行うているII写真II。

七夕に期間限定営業

カフェクオーネ

一時休業中の飲食店「Cafe Quone」(カフェクオーネ)が8月5日、仙台七夕まつりに、期間限定で営業をした。8月5~9日に店を開き、初日の5日は店頭でPSCのスタッフがビールやラムネ、枝豆などを販売。浴衣姿の家族連れら、大勢の人でにぎわったII写真II。

「Cafe Quone」は8月17日から、プレオープンをしている。9月中に本格的な営業再開を予定しており、シフォンケーキ、タコライスなどメニューを充実させる。PSCでは現在、同店のスタッフを募集している。連絡先は080(4427)685(佐々木)まで。



「えんがわ」のつぎやき

教師のことは

以前、ある編集長から聞いたお話。
ある地方都市に凶悪犯ばかりを収容する刑務所があった。そこに、やってくる牧師さんが説教などしようものなら、たちまち野次と罵声で立往生してしまう。そんなすさんだ施設だったのだという。
ある日、刑務所に、一人の禅の老師が招かれた。いまにも倒れそうな小柄な高齢の老人。やっとのことで歩んでゆく。囚人たちは手ぐすねを引いて待っている。と、登壇した瞬間、くわっと眼を見開いて大声を放った。
「お前たち、何でこんなところにいるんじや。みんな心配しておるぞ。早く帰れ！」
それだけ言うと、老師は壇を降りて帰ってしまった。
すると、水を打ったように静まり返った席のあちこちから嗚咽(おえつ)やすすり泣く声が聞こえてきたそう。
深い。この話を聞いた夜は、一晩、眠ることができなかった。いま、何で自分はこの中にいる? みんなとは誰だ? 神か仏か? 「帰れ」とはどこに帰れというのか? もちろん待つ人のある人は言葉通りに受け止めたに違いないが。(H・M)